

越谷市本庁舎建設基本計画の見直し（素案）に対する意見公募結果

意見募集期間	平成28年9月1日(木)～9月30日(金)
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市ホームページへの情報掲載 ・市役所庁舎管理課窓口、庁舎内掲示板（12か所）、情報公開センター、各地区センター（13か所）へのポスター掲示 ・越谷cityメール登録者へのメール送信 ・広報こしがやお知らせ版（平成28年9月号）への記事掲載
意見提出方法	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール ・郵送（当日消印有効） ・FAX ・各施設に設置した意見箱への投函 ・電子申請
素案冊子・意見箱設置箇所	<p>全15か所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市役所庁舎管理課窓口 ・情報公開センター ・各地区センター（13か所）
意見数	<ul style="list-style-type: none"> ・意見提出者：3人 （内訳：電子メール2人、FAX1人） ・意見数：11件

寄せられた意見等・市の考え方

No.	見直しの 該当箇所	意見の要旨	市の考え方
1	新本庁舎 の規模	面積を約 2,800 m ² 減少させれば、各階の面積を減らすだけでなく、階数を減らすことも可能であるため、全体の階構成を再検討することが重要である。	新庁舎の階構成については、基本設計の中で各部署の配置、構造計画及び駐車場スペースの確保などの敷地利用計画等を総合的に検討の上で決定をしたいと考えています。
2	新本庁舎 の規模	見直し後の総面積の範囲内で、階数を少なくし、各階の面積を増やせないか。フロア面積の拡大により、今後の各部・課等の拡大・縮小に合わせた柔軟性が確保でき、結果として建物利用の有効性が高まるものと思われる。また、階数を少なくすることで、ライフサイクルコストへの負荷も削減できるのではないか。	
3	概算事業 費	建設本体の算出のみで、設計料、外構工事、周辺整備等の算出がない。面積、建設単価の修正だけでなく、市民協働ゾーンの必要性や全体的な構成を再検討することでも事業費の抑制が可能と考える。市民協働ゾーンについては、駅前に市民活動支援センターもある。表面的な数値操作によって、見かけの数字を修正するのは本質的ではない。	設計料、庁舎敷地内の外構工事費等については、素案6 ページ（新旧対照版1 2 ページ）に掲載しております。なお、周辺道路等の整備費については、「越谷市まちの整備に関する条例」や「越谷市中心市街地活性化基本計画」などとの調整が必要となることから計上していません。 また、市民協働ゾーンについては、イベントの開催や各種企画展示を行うなど市民の交流の場として整備するものであり、市民活動への参加を促進、支援する市民活動支援センターとは若干意味合いが異なることから、現段階での計画の見直しは行わないものとします。

			ただし、基本設計を進める中で各種条件等の整理を行い縮小が図れるよう努めます。
4	概算事業費	財政難の折、概算事業費が101億あまりから78億ほかに減額されたことは歓迎される。願わくは、東京での問題のように当初の財政計画が大幅な上積みにならないことを望む。特に、市債がどの程度になり、市民負担がどの程度増えるのかが気になりなところである。	事業費については、引き続き費用の削減を目指すとともに、財源についても、国の補助金等の動向に注視しながら、市民負担が少なくなるよう努めます。
5	その他	耐震性の問題から急ぐ必要があるのは理解できるが、葛西用水との関係、前面道路の改善、中央市民会館、駐車場計画、歩行者動線などを含めた全体の見直しを図り、本庁舎だけの計画ではなく、周辺環境を含めた地域全体の課題として、計画全体を見直して頂きたい。建築単体、敷地内で完結する計画では不十分であり、敷地周辺（道路や河川等）も公共施設であることから、より一体的な計画が望ましい。	市役所周辺環境との一体的な整備については、元荒川及び葛西用水ウッドデッキ等との広がりを活かした整備を行うとともに、歩行者、自動車等の動線を整理して、利用者が安全で安心して利用できるように配慮します。 また、敷地周辺の整備については、庁内で連携を図りながら検討します。
6	その他	新本庁舎と（仮称）市民協働ゾーンの建物は一体か。一体でないとするれば、一体で建設することは出来ないか。一体の建物の中で区分できればと思う。	新庁舎と（仮称）市民協働ゾーンは、建設時期が異なるために、一体で建設することは出来ませんが、各建物間は空間的に連続性を持たせ、使用上支障が生じないように計画します。
7	その他	平和都市宣言のまちである越谷に平和資料館がない現状から、（仮称）市民協働ゾーン（多目的スペース）に平和資料展示コーナー（室）を併設していただきたい。	基本計画 23 ページに、導入機能の整備方針のうち市民交流活動機能として掲げたとおり、市民サービス向上の行政情報を提供する環境整備を行う計画となっています。

			このため、効果的な情報展示スペースとなるよう、設計段階等で手法などを検討します。
8	その他	再生可能エネルギーの前進のうえから、計画にある太陽光発電設備については、この際現状よりの拡充についても検討していただきたい。	基本計画 38、39 ページに、導入機能の整備方針のうち環境共生・省エネルギー機能として掲げたとおり、太陽光などの再生可能エネルギーの積極的な活用や緑化を推進する計画となっています。このため、具体的な方策については、基本設計を行う中で検討します。
9	その他	建物の階数を少なくし、各階の面積を増やすことで、有効な屋上面積の確保(増加)が出来るのではないか。このことにより、屋上の緑化や太陽光発電設備の設置等に有利となり、屋上の有効利用の可能性が高まるものと思われる。	基本計画 39 ページに、導入機能の整備方針のうち環境共生・省エネルギー機能として掲げたとおり、ライフサイクルコストの低減に取り組む計画となっています。このため、具体的な方策については、基本設計を行う中で検討します。
10	その他	基本計画の見直しは、ライフサイクルコストを踏まえた見直しをお願いしたい。	基本計画 51 ページに、新庁舎の整備計画の環境負荷低減目標として掲げたとおり、CASBEE による評価A以上を目標とする計画となっています。このため、具体的な方策については、基本設計を行う中で検討します。
11	その他	計画の見直しに合わせ、環境や社会への配慮を併せ持つ建物の建設を目指し、CASBEE(建築環境総合評価システム)や、日本政策投資銀行のDBJグリーンビルディング認証等の取得を検討してはどうか。結果として、越谷市の環境への取り組みが評価されることに結びつくものと思われる。	基本計画 51 ページに、新庁舎の整備計画の環境負荷低減目標として掲げたとおり、CASBEE による評価A以上を目標とする計画となっています。このため、具体的な方策については、基本設計を行う中で検討します。